

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

株式会社近畿日本ツーリスト九州

資 産 の 部		負 債 お よ び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,573,918,357 円	流 動 負 債	1,408,345,608 円
現金及び預金	449,998,039	営業未払金	848,395,775
営業未収金	633,939,473	未払金	50,033,074
貯蔵品	1,338,063	未払費用	2,957,633
旅行前払金	325,088,293	未払法人税等	2,843,500
前払費用	12,535,503	旅行前受金	425,893,851
繰延税金資産	9,558,705	預り金	39,445,912
その他流動資産	141,460,281	賞与引当金	36,801,563
固 定 資 産	128,872,285	その他流動負債	1,974,300
有形固定資産	25,955,481	負 債 合 計	1,408,345,608
建物	20,644,434	株 主 資 本	294,445,034
器具備品	5,311,047	資 本 金	100,000,000
無形固定資産	2,000	資 本 剰 余 金	700,000,000
電話加入権	2,000	資 本 準 備 金	400,000,000
投資その他の資産	102,914,804	その他資本剰余金	300,000,000
差入保証金	63,810,509	利 益 剰 余 金	△ 505,554,966
繰延税金資産	7,811,795	その他利益剰余金	△ 505,554,966
その他投資等	36,796,854	繰越利益剰余金	△ 505,554,966
貸倒引当金	△ 5,504,354	純 資 産 合 計	294,445,034
資 産 合 計	1,702,790,642	負債および純資産合計	1,702,790,642

当期純損失 78,249,058円

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

主として定率法を採用しております。なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

2. 繰延資産の処理方法

株式交付費については、支出時に全額費用処理しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権は貸倒実績率法、貸倒懸念債権等特定の債権は財務内容評価法で計上しております。なお、一般債権については貸倒実績がないため、引当金は設定しておりません。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支払いに充てるため、支給見込額のうち当事業年度に対応する見積額を計上しております。

4. 収益の計上基準

自社の企画旅行商品等の販売については旅行終了時に計上し、他社の企画旅行商品、手配旅行等の代理販売については発券時に計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

KNT-CTホールディングス株式会社を連結親法人とする連結納税制度を適用しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の数

株式の種類	当事業年度期首の 株式数	当事業年度の 増加株式数	当事業年度の 減少株式数	当事業年度末の 株式数
普通株式	10,000株	6,000株	—	16,000株

2. 事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

当事業年度中に行った剰余金の配当はありません。